

## Ⅱ 給油取扱所の予防規程認可基準

### 第1 予防規程の作成単位（認可の申請）

- 1 原則として、一の給油取扱所（自家用給油取扱所を除く。）に対して一の認可申請とすること。
- 2 次に掲げる内容は、予防規程の変更認可を要さない。（ろ）
  - (1) 予防規程の細則等を制定し、又は改廃したとき
  - (2) 認可を受けた予防規程の添付図書等に変更があったとき
  - (3) 危険物保安監督者を選任し、又は解任したことにより、氏名に変更があったとき
  - (4) その他、軽微な変更と認められるとき

### 第2 予防規程に定める事項

#### 1 統括的事項

- (1) 適用範囲は、給油取扱所の全域とすることを定めていること。
- (2) 遵守義務は、給油取扱所の従業員に課することを定めていること。
- (3) 出入者に対し必要に応じて、従業員が予防規程の内容を告知する義務を定めていること。
- (4) 危険物取扱者等、危険物の貯蔵・取扱いに従事する者も、予防規程の立案、改正に参画することを定めるよう指導する。

#### 2 保安業務を管理する者の職務及び危険物保安監督者の代行

（危規則第60条の2第1項第1号、第2号）

- (1) 保安管理組織の構成及び業務内容を役職名等で具体的に定めていること。
- (2) 危険物保安監督者の不在時における当該職務の代行者について定めていること。
- (3) 所長、危険物保安監督者、危険物取扱者及びその他の従業員に係る職務について定め、保安管理の組織図を添付するよう指導する。

#### 3 自衛の消防組織（危規則第60条の2第1項第3号）

I 製造所等の予防規程第3、4を準用すること。

#### 4 保安教育（危規則第60条の2第1項第4号）

I 製造所等の予防規程第3、5を準用すること。

#### 5 巡視、点検、検査（危規則第60条の2第1項第5号）

- (1) 毎日、定期、臨時に行うべき点検項目及び点検実施者について定めていること。
- (2) 点検実施者が異常を発見した場合における使用禁止等の表示等の処理を行う義務及び所長への報告義務を定めていること。

#### 6 危険物施設の運転・操作、危険物の取扱作業基準

（危規則第60条の2第1項第6号、第7号）

- (1) 危険物取扱作業時における貯蔵及び取扱基準については、法令に定める基準を遵守する義務の他、次の事項を定めていること。
  - ア 無資格者が危険物を取り扱う場合における危険物取扱者の立会い義務
  - イ 給油又は注油時における油種の確認
  - ウ ローリーから危険物を受け入れ作業時における危険物取扱者の立会い義務と品目の確認及び受け入れタンクの残量の確認
  - エ みだりに火気及び火花等を発生させる機械器具の使用の禁止
  - オ 危険物の積み下ろし時及び給油時における自動車等のエンジン停止の確認

- カ 灯油の小分け時における容器の消防法令基準適合の確認及び注油済み容器の放置の禁止
  - キ その他当該給油取扱所の形態等に応じた必要な事項
- (2) 当該給油取扱所において給油又は注油以外の業務を行う場合においては、給油又は注油の業務に支障を与えないよう細心の注意を払うことを定めるとともに、特に留意しなければならない次の事項も定めていること。
  - ア 給油又はこれに付随する注油、自動車の点検・整備若しくは洗車と関係ない者を対象とする業務の禁止
  - イ 給油業務を行っていない時の係員以外の者の出入禁止措置の実施
  - ウ 所内にいる客等の状況に応じた十分な係員の配置及びこれによる整理、誘導の実施
  - エ 屋外での物品の販売等の業務
    - (ア) 出火・延焼防止上の留意事項
    - (イ) 危険物の取扱い作業上の留意事項
    - (エ) 火災時の避難に関する留意事項
    - (オ) 人・車両の動線に関する留意事項
  - オ その他当該給油取扱所において行う給油及び注油以外の業務の内容に応じた必要な事項
- 7 補修等の方法（危規則第60条の2第1項第8号）
  - Ⅰ 製造所等の予防規程第3、9を準用すること。
- 8 施設工事における火気の使用若しくは取扱いの管理又は危険物等の管理等、安全管理に関すること。（危規則第60条の2第1項第8号の2）
  - Ⅰ 製造所等の予防規程第3、10を準用すること。
- 9 顧客に対する監視その他保安のための措置（危規則第60条の2第1項第8号の4）
  - (1) 監視等を行う危険物取扱者及びその指揮下で監視等を行う従業者（以下「危険物取扱者等」という。）の顧客に対する指示・連絡体制及び必要な措置体制を定めていること。
  - (2) 顧客用固定給油設備等の1回の給油量及び給油時間の上限の設定について定めていること。
- 10 災害その他非常の場合の措置（危規則第60条の2第1項第11号）
  - (1) 災害時の即応体制を整えておくため、自衛消防隊を編成すること及び自衛消防隊長、自衛消防隊員の責務を定めていること。（規模に応じ、その役割分担を定めていること。）
  - (2) 事故時の措置及び消火活動等については、次の事項を定めていること。
    - ア 火災の発生又は危険物流出等を覚知した者の報告義務と、自衛消防隊長の指揮下で実施する客等の避難誘導及び応急措置
    - イ 危険物が給油取扱所外へ流出した場合又は可燃性蒸気が拡散するおそれがある場合における周辺地域の住民及び通行者等に対する火気使用の禁止等の協力要請及びこの場合における流出防止、回収等応急措置
    - ウ 火災発生時又は危険物の流出等の事故が発生した場合における消防機関への通報
  - (3) Ⅰ 製造所等の予防規程第3、14、(8)を準用すること。
- 11 地震発生時における施設及び設備に対する点検、応急措置等（危規則第60条の2第1項第11号の2）
  - (1) 地震発生時の措置については、危険物取扱作業の中止、安全確認のための点検実施について、定めていること。

- (2) 地震後から施設再開までの対策について、定めていること。
- 12 危険物の保安記録（危規則第60条の2第1項第12号）
  - I 製造所等の予防規程第3、16を準用すること。
- 13 危険物施設の書類等の整備（危規則第60条の2第1項第13号）
  - I 製造所等の予防規程第3、17を準用すること。
- 14 その他危険物の保安に必要な事項（危規則第60条の2第1項第14号）

### 第3 圧縮天然ガス等充てん設備設置給油取扱所における事項

- 1 高圧ガス製造保安統括者、高圧ガス製造保安員も予防規程の立案、改正に参画することを定めるよう指導する。
- 2 高圧ガス製造保安統括者、高圧ガス製造保安員の職務代行者及び保安に係る職務について定めていること。
- 3 圧縮天然ガス等の災害に対応した消火活動、応急措置、防災資機材等に関して定めていること。
- 4 危害予防規程の関係  
予防規程における緊急時の対応組織及び措置は、埼玉県に届出される危害予防規程と共通のものを定めていること。

### 第4 単独荷卸しを行う給油取扱所における事項

次の事項を「第2 予防規程に定める事項」に追加すること。

- 1 危険物保安監督者及び従業員に対する教育（危規則第60条の2第1項第4号関係）  
単独荷卸しに係る次の事項の教育を定めていること。
  - (1) 単独荷卸しの仕組み
  - (2) 単独荷卸しに係る安全対策設備の構造、機能等
  - (3) 営業時間中に単独荷卸しを行う場合の対応
  - (4) 異常事態発生時の対応
- 2 安全対策設備の維持管理（規則第60条の2第1項第5号関係）  
単独荷卸しを行うため設置する安全対策設備を適正に維持管理するための点検等を定めていること。
- 3 単独荷卸しの実施（規則第60条の2第1項第7号関係）  
石油供給業者又は自ら単独荷卸しを行う運送業者が構築した単独荷卸しの仕組みに基づき、単独荷卸しを適切に行うことを定めていること。
- 4 事故等の異常事態発生時の対応（規則第60条の2第1項第11号関係）  
営業中及び営業時間外における単独荷卸し時に異常事態（火災・地震等の安全及び安全対策設備の異常）が発生した場合の対応を定めていること。
- 5 単独荷卸しの仕組み（規則第60条の2第1項第14号関係）  
石油供給業者又は自ら単独荷卸しを行う運送業者が構築した単独荷卸しの仕組みについて、次の事項を定めていること。
  - (1) 給油取扱所に設置する安全対策設備
  - (2) 単独荷卸しを実施する運送業者（自ら単独荷卸しを行う運送業者を除く。）が実施すべき事項
  - (3) 石油供給業者又は自ら単独荷卸しを行う運送業者が実施すべき事項

- 6 危険物保安監督者、従業員の体制（規則第60条の2第1項第14号関係）  
単独荷卸し時における危険物保安監督者、従業員の体制について、定めていること。

#### 第5 単独荷卸しを行う給油取扱所の予防規程に添付する書類

単独荷卸しを行う給油取扱所の予防規程に添付する書類は、次のとおりであること。

- 1 石油供給者又は自ら単独荷卸しを行う運送業者の構築した単独荷卸しの仕組みを記載した書類
- 2 単独荷卸しを実施する運送業者のリスト
- 3 石油供給者又は自ら単独荷卸しを行う運送業者が、単独荷卸しの仕組みに基づき、単独荷卸しを実施することを確約した書類（契約書等）

#### 第6 携帯型電子機器を使用する場合の予防規程に添付する書類

携帯型電子機器を使用する場合の予防規程に添付する書類は、次のとおりであること。

- 1 携帯型電子機器の仕様、当該携帯型電子機器への保護措置
- 2 携帯型電子機器の用途、使用する場所及び管理体制
- 3 携帯型電子機器の使用中に火災等の災害が発生した場合に取るべき措置  
（危規則第60条の2第1項第11号関係）

#### 第7 可搬式の制御機器を使用する場合の予防規程に定める事項

可搬式の制御機器を使用する場合は、次の事項を定めていること。

- 1 可搬式の制御機器の規格及び落下防止措置
- 2 火災等の災害発生時の措置
- 3 消火器の配置場所
- 4 必要な教育・訓練

#### 第8 固定注油設備を用いて、移動タンク（容量2000ℓ以下ごとに仕切られた4000ℓ以下のタンク）に注入（荷積み）を行う場合に予防規程に定める事項（ろ）

固定注油設備を用いて、移動タンクに注入（荷積み）を行う場合は、次の事項を定めていること。

- 1 灯油又は軽油を移動タンクに注入する場合は、固定注油設備を用いること。
- 2 移動タンクが注油空地からはみ出たまま注入行為を行わないこと。また、移動タンクのエンジンが停止及びパーキングブレーキが操作されていることを確認するまでは、注入行為を行わないこと。
- 3 保安監督者は、消防法に基づく許可を受けた移動タンクに注入するときは、移動タンクの乗務員の危険物取扱者の免状及び当該移動タンクの消防法に基づく完成検査済証を確認すること。
- 4 保安監督者は、火災予防条例に規定する少量危険物を貯蔵する移動タンクに注入するときは、移動タンクの常置場所を管轄する消防機関に提出された届出書（少量危険物貯蔵取扱届出書）を確認すること。
- 5 移動タンクへの注入行為は、危険物取扱者免状を受けている者が行い、絶対にその場を離れてはならないこと。
- 6 危険物取扱者は、移動タンクの底弁が閉鎖していることを確認するまでは、注入行為をしてはならないこと。

- 7 危険物取扱者は、静電気による火災を防止するため、移動タンクを接地（アース）するまでは、注入行為をしてはならないこと。
- 8 移動タンクの許可又は少量危険物届出の数量を超える注入をしてはならないこと。
- 9 移動タンクの上部（マンホール）から軽油又は灯油を注入する場合は、注入管を用いること。  
また、注入管の先端はタンク底部に着けること。
- 10 注入中に軽油又は灯油が漏れ、溢れ又は飛散した場合は、直ちに、漏れ等した危険物を除去、清掃等の措置を行うこと。
- 11 危険物取扱者は、注入後、直ちに固定注油設備のポンプを停止すること。
- 12 危険物取扱者は、注入後に移動タンクの上部マンホール及び底弁の閉鎖状況を確認すること。
- 13 保安監督者は、注入行為に際し危険物取扱者等の作業員が、消防法令及びこの予防規程の内容に違反する行為を認めたときは、直ちに注入行為を停止させ安全を確保すること。また、違反の再発を防止するため、当該作業員に対し必要な保安教育を行うこと。